

2019年4月17日

2018（平成30）年度 輸送実績（速報）

1. 輸送概況

2018（平成30）年度は、上期に相次いで発生した大阪府北部地震、平成30年7月豪雨、台風20・21・24号接近、北海道胆振東部地震等の影響を大きく受けた。平成30年7月豪雨による不通への対応として、山陽線ではトラック・船舶による代行輸送および伯備線・山陰線・山口線を経由した迂回運転を実施した。

コンテナは、長期間にわたり山陽線が不通となった影響により、中国・九州発着が大幅な減送となったため、紙・パルプ、食料工業品、積合せ貨物、化学工業品、化学薬品、自動車部品等すべての品目で前年を下回った。さらに農産品・青果物は北海道産が天候不順に伴う生育不良の影響を大きく受けた。その結果、コンテナ全体では前年比90.4%となった。

車扱は、石油が冬季の気温が高く推移したことから、灯油・重油の需要が落ち込んだため、低調な荷動きとなった。車扱全体では前年比97.2%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比92.4%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	2018(平成30)年度計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	20,273	22,437	90.4%
車扱	8,950	9,205	97.2%
合計	29,223	31,642	92.4%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	1,771	1,972	-201	89.8%
	化学工業品	1,832	2,097	-265	87.4%
	化学薬品	1,337	1,513	-176	88.3%
	食料工業品	3,423	3,747	-324	91.3%
	紙・パルプ	2,666	3,004	-338	88.7%
	他工業品	1,444	1,595	-151	90.6%
	積合せ貨物	2,638	2,849	-211	92.6%
	自動車部品	764	884	-120	86.5%
	家電・情報機器	397	433	-36	91.8%
	エコ関連物資	487	488	-1	99.8%
	その他	3,513	3,855	-342	91.1%
	コンテナ計	20,273	22,437	-2164	90.4%
車扱	石油	6,071	6,250	-179	97.1%
	セメント・石灰石	1,405	1,374	31	102.2%
	車両	872	901	-29	96.8%
	その他	601	680	-79	88.5%
	車扱計	8,950	9,205	-255	97.2%
合計		29,223	31,642	-2419	92.4%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）